

食に関する指導の全体計画(案)

子供の実態 保護者・地域の実態	学校教育目標	学習指導要領 食育基本法 食育推進基本計画
--------------------	--------	-----------------------------

給食に関する指導の目標
①食事の重要性、食事の喜び、楽しさの理解をする。 ②心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事の摂り方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。 ③正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身に付ける。 ④食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々への感謝する心を育む。 ⑤食事のマナーや食事に通じた人間関係形成能力を身に付ける。 ⑥各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。 ⑦食物アレルギーについて理解を深め、楽しく安心して食事ができるなど自分の食を自分で管理していく力をつける。 ⑧食べられない食品がある友達を理解するなど、子供一人一人が互いに違いを理解し、認め合い、行動することができるようにする。

幼稚園 保育所	各学年の給食に関する指導の目標			中学校
	低学年	中学年	高学年	
○ルールを守って食事ができる。 ○好きな食べものを増やす ○子供同士が違いを認め合う ○食べ物の名前を知る。	○食べ物に興味関心をもつ。 ○好き嫌いをせずに食べようとする。 ○色々な食べ物の名前が分かる。 ○友達と協力して、配膳や片付けをする。 ○食物アレルギーについて知る。 ○好き嫌いアレルギーの違いを知る。 ○食物アレルギー等食べられない友達がいることを理解し認める。 ○ルールを守って食事をする。 ●自分が食べられないアレルギー食品・食材を確認できる。	○楽しく食事をすることが心身の健康に大切なことが分かる。 ○健康に過ごすことを意識して、いろいろな食べ物を好き嫌いせず食べようとする。 ○衛生的に給食の準備、食事後片付けができるようにする。 ○食物アレルギーについて理解する。 ○食物アレルギーのある友達について、配慮し違いを認めることできる。 ●自分が食べられないアレルギー食品・食材を確認できる。 ●食物アレルギーで食べられない食品・食材を理解する。	○楽しく食事をすることが、人と人の繋がりを深め、豊かな食生活に繋がることが分かる。 ○食事が体に及ぼす影響を理解して、食品をバランスよく組み合わせる大切さを理解して一食分の食事が考えられる。 ○食物アレルギーについての理解を深め、安全に食事ができる。 ○除去食がある友達に配慮した準備ができる。 ○食物アレルギーの症状と対処方法について理解を深める。 ○食物アレルギー等食べられない友達がいることの違いを深め、互いに違いを認め合い配慮することができるようにする。	○食品の特徴を知り、体にあった食べ方や食品を選択する能力を身に付け、実践しようとする態度を養う。  ●アレルギー食品・食材を自分で除去することができるようにする。 ○食物アレルギー等食べられない友達への理解を深め、互いに違いを認め合い配慮できる。

学級活動 及び 給食の時間		4月・5月・6月	7月・8月・9月	10月・11月・12月	1月・2月・3月
		低	○給食の約束、歯を大切に ○給食を知ろう ○仲良く食べよう ○ルールを守ろう ○アレルギー食品があることを知ろう、食べられない食品がある友達がいることを知ろう	○夏休みの健康 ○食べ物の名前を知ろう ○楽しく食べよう ○アレルギーのため、食べられない食品がある友達がいることを知ろう	○健康な生活習慣 ○食べ物に関心をもとう ○食べ物を大切にしよう ○アレルギー食品について理解を深めよう ○食べられない食品がある友達を認めよう
中	○給食の約束、歯を大切に ○仲良く食べよう ○食品について知ろう ○給食の決まりを覚えよう ○主なアレルギー食品を知ろう ○ルールを守ろう ○アレルギーのため、食べられない食品がある友達がいることを認めよう	○夏休みの健康運動と健康 ○食事の環境について考えよう ○食べ物の働きを知ろう ○アレルギー食品による事故について考えよう	○健康な生活習慣 ○食べ物の3つの働きを知ろう ○食べ物を大切にしよう ○食事の環境について考えよう ○アレルギー食品の主な食材を知ろう ●献立表などから自分が食べられない食材について確認しよう	○風邪の予防、成長を振り返ろう ○給食の反省をしよう ○食生活を見直そう	

	高	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安全に気を付けた給食準備、歯を大切に</li> <li>○食べ物の働きについて知ろう</li> <li>○楽しい給食時間にしよう</li> <li>○アレルギー食品の食材について理解を深めよう</li> <li>●献立表から自分が食べられない食材を確認しよう</li> <li>○ルールやマナーを守り、互いに違いを認めよう</li> <li>○アレルギーに配慮した給食の準備をしよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○夏休みの健康運動と健康</li> <li>○食事の環境について考えよう</li> <li>○食べ物の働きを知ろう</li> <li>○アレルギー食品による事故の危険性について考えよう</li> <li>○宿泊学習のアレルギー事故対策について考えよう</li> <li>●献立表から自分が食べられない食材を確認しよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康な生活習慣</li> <li>○感謝して食べよう</li> <li>○食べ物と健康について知ろう</li> <li>●自ら進んでアレルギー食品について確認しよう</li> <li>○食べられない食材がある友達についての理解をさらに深め、互いに違いがあることについて認めあおう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○風邪の予防、成長を振り返ろう</li> <li>○1年間の給食を振り返ろう</li> <li>○食生活について考えよう</li> <li>●自ら進んでアレルギー食品について確認しよう</li> <li>○互いに違いを認めあおう</li> <li>○アレルギーに配慮した給食の準備をしよう</li> </ul>			
全校一斉指導		ふれあい交流ランチ アレルギー食品について確認する 互いに違いを認め合う	ふれあい交流ランチ アレルギー食品について確認する 互いに違いを認め合う	ふれあい交流ランチ 主食の大きさを考えよう アレルギー食品について確認する 互いに違いを認め合う	ふれあい交流ランチ 季節を味わおう アレルギー食品について確認する 互いに違いを認め合う			
学校行事		発育測定・運動会・遠足 ・食育月間・通学合宿	・修学旅行・夏季施設 ・個人懇談・夏休み	・宿泊学習・学習発表会 ・個人懇談・冬休み	・学校給食週間			
児童会活動		・ふれあいスタートの会	・ふれあい当番活動活動	・児童フェスティバル	・ふれあい感謝の会			
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
社会	教科との関連			・私の町みんなの町 ・見直そう私たちの暮らし ・調べよう物を作り仕事	・私たちの暮らしと土地の様子 ・健康な暮らしとまちづくり	・食糧生産を支える人々 ・住みよいくらしと環境	・大昔の人々の暮らし ・戦争から平和への歩み	
理科				・植物の体のつくりや育ち方 ・こん虫の食べものやすみかをしらべよう	・季節と生き物 ・人の体のつくりと運動	・種の発芽・成長・結実 ・動物の誕生	・インゲン豆やジャガイモを育てよう ・人の体のつくりと働き	
生活		・みんなだいすき ・やさいをそだてよう	・できるようになったよ ・おいしいやさいになあれ					
家庭						・なぜ食べるのだから ・野菜の調理 ・ご飯を炊く	・生活を計画的に ・楽しい食事を工夫しよう	
体育(保健)				・毎日の生活と健康	・育ちゆく体とわたし			・病気の予防
道徳			1主として自分自身に関すること(低)(中)(高) 2主として他の人とのかわりに関すること(低)(中)(高) 3主として自然や崇高なものとのかわりに関すること(低)(中)(高) 4主として集団や社会とのかわりに関すること(低)(中)(高)					
総合		・むかしの食事(3年)・ふるさとを食べよう(4年)・豆豆大作戦(5年)・ホリデーランチを作ろう(6年)						
家庭・地域との連携の取り組み方		・学校だより、給食だより、保健だより、学校給食試食会、家庭教育学級、講演会(学校を中心としてどのような子供を育てたいのか、そのための保護者・地域とどのような連携の取組を計画しているのかを記述する) ・管理指導表の提出・個人懇談・人権の配慮の確認・個人情報の確認						
人権教育		・食べ物についての個別対応の理解を深める。・個の違いを理解し、適切に行動できる。 ・病気やアレルギーのある子供もいない子供も、互いに相手を認め、尊重し合い、自分を大切にするとともに他人を大切にできる子供を育てる						
個別指導目標		(低学年) 自ら何が食べられないのかを説明できる ルールを確認する (中学年) 自ら給食のどの食品、どの食材に原因食物が入っているかを理解する 食べられないメニューを確認する (高学年) 自ら原因食物を回避することができる 症状に対して、適切な対処ができる(周りにも伝えることができる)						
個別指導方針		・保護者からの申し出(管理指導表)、定期健康診断の結果、日常の食生活の様子等から個別相談指導が必要な児童・生徒を対象に実施する等、個別指導の方針等を明らかにする ・関係職員との連携、校内の指導体制等について確認する ・全教職員の共通理解を図ることができるよう、学校の実態に応じて方針を固める ・残さず食べるようにする指導は大切だが、完食を目指して無理におかわりをさせるような指導はしない。						

●アレルギーのある子供○全ての子供\_アレルギー対応 「食に関する指導の手引き」(文部科学省)参照

【H26年3月策定】